

IE士資格取得講座

Industrial Engineer IE士資格認定制度  
全日本能率連盟資格登録第25号

2025年度 受講案内

# IEプロフェッショナル 養成コース

(第53回 IE士養成コース)  
旧名称:生産革新プロフェッショナルコース

磨き続けて「53年」、選ばれ続けて「53年」  
IEのプロとして、生産革新リーダーを養成する研修

**JMA** 経営革新を推進する  
一般社団法人日本能率協会

2025年度より  
大幅なプログラムリニューアル!

昨年実施 オンデマンド講義・スクーリング

+

追加事項

ものづくり現場改革・改善演習  
最新の工場見学・デジタル活用事例発表

## 本コースの特徴

- IE技術の応用・実践力を体得する11日コース
- 多種の演習を通じ、生産改革、工場改革を牽引するIEプロフェッショナルのスキルを磨く。
- コンサルティング経験豊富な講師による、“経営貢献できるIE技術の適用”を伝授。
- 社内コンサルタント、IEインストラクター、海外工場指導者を目指す方にベストマッチ。

## IE(インダストリアルエンジニアリング)とは

- IEとは、Industrial Engineering (インダストリアル・エンジニアリング)の頭文字を取った略語で、「アイ・イー」と呼ばれています。
- IEは、生産現場の動作研究を行う技術として生まれました。
- 人・設備・材料・手段・情報の統合されたシステムを設計し、改善し、定着化するための基礎的な管理手法です。

# 効果的・効率的に理解が深まるカリキュラム

試験日まで、何回も復習できる

オンデマンド講義

リアルタイムに質問、他参加者の視点がわかる

スクーリング

実践的なスキルを身につけ、ものづくり改革案を導き出す

現場改革・改善演習

## コースの ポイント



POINT  
1

### ものづくり・現場の原理原則をIEから学ぶ

IEの概念論だけでなく、実践的かつベーシックな改善手法を体系的に学び直します。現場経験のみでIEを学習したことのない方も安心してご活用いただけます。サブ教材として「IE基礎テクニック習得コース」「IE基礎分析手法習得セミナー」の特典講義(オンデマンド動画・無料)もついていきます。

POINT  
2

### 単なる工程改善(部分最適)から生産革新(全体最適)の視野へと広げる

生産・製造だけではなく、開発・購買・物流などサプライチェーン全体を俯瞰した知識や、経営・現場の管理・評価手法やマネジメント、競合との差別化等の経営戦略なども学び、目の現場改善ではなく、工場そして企業全体の改善活動へ視野を広げます。

POINT  
3

### 社内のIEを指導・育成するキーパーソンに必要な教育内容を学ぶ

IE基礎テクニックの教え方や、すぐに使える分析シート等を収録した「IE教育の虎の巻」「IEインストラクターマニュアル」は、社内研修でも利用でき、講師としてのスキルアップが図れます。

POINT  
4

### 異業種交流とネットワーキング機会の増加

演習や交流セッションを通じて、異業種間の視野・視座・視点の変化を促進します。

講師から皆さまで



角田 賢司  
(株)日本能率協会  
コンサルティング  
シニア・コンサルタント

「IEプロフェッショナル養成コース」では、IEだけに限らず、幅広い知識を身につけていただけるような工夫をしています。

例えば、購買の領域やサプライチェーンの領域、あるいは品質、量産立ち上げといったテーマも取り入れ、**製造現場のみならず、周辺領域にまで視野を広げていただくような講義内容**となっています。

この研修で学んでいただき、**IE士として認定されれば、現場で使える手法がたくさん身につくだけでなく、これまでと比べて実践力も高まった状態でそれぞれの職場に戻っていただくことができ、活躍の場がさらに広がる**と思います。

現役の

講師陣は  
生産  
コンサルタント!

角田 賢司	日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント(第1・4・5単位、スクーリング)
石田 秀夫	日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント(第2単位、スクーリング)
武田 啓史	日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント(第3単位、スクーリング)
伊庭 栄	日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント(スクーリング)

## IE士 資格認定要件

### 合格必須要件

- IE士認定試験(筆記試験):90分間
- 個人面談
  - ・ 個人レポート作成 ・ プレゼンテーション
  - ・ 講師との質疑応答
- IEインストラクター実践演習
  - ・ 担当単元の理解度 ・ プレゼンテーション技術
- 総合演習の「STEP6: 改善案の提案」
  - ・ 改善案の内容 ・ プレゼンテーション技術

### 合格参考要件

- スクーリング出席率
- 課題提出率

「現場の効率性を評価するための各ツールを学ぶ」という以上に「マネジメントの部分で必要とされること」に多くの気づきがありました

(2021年度受講生)

2025年度

## IEプロフェッショナル養成コース プログラム

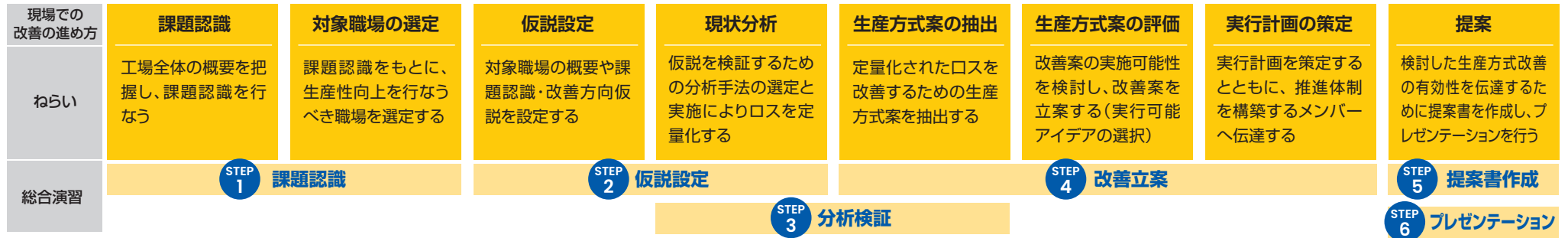
回数・日程		参加方法	午 前		午 後	
第1回	2025年10月3日(金) 13:00～18:30	通学			オリエンテーション ● 受講者自己紹介 ● コース概要説明	事例講演 デジタル化 導入事例
					懇親会	
期間内自己学習		動画	オンデマンド講義 第2・3単位の自己学習 事前課題提出			
第2回	2025年10月17日(金) 9:00～17:00	Zoom	オンデマンド講義 第2単位 ● グループ討議 ● 講師質疑応答	オンデマンド講義 第3単位 ● グループ討議 ● 講師質疑応答	次回までの 課題確認	
			スクーリング	スクーリング		
期間内自己学習		動画	オンデマンド講義 第4・5単位の自己学習 事前課題提出			
第3回	2025年10月31日(金) 9:00～17:00	Zoom	オンデマンド講義 第4単位 ● グループ討議 ● 講師質疑応答	オンデマンド講義 第5単位 ● グループ討議 ● 講師質疑応答	次回までの 課題確認	
			スクーリング	スクーリング		
期間内自己学習		動画	オンデマンド講義 第1単位の自己学習 事前課題提出			
第4回	2025年11月13日(木) 9:30～17:00	通学	オンデマンド講義 第1単位 ● グループ討議 ● 講師質疑応答	STEP 1:課題認識 ● 事前レクチャー ● 演習 ● グループ発表		
			スクーリング			
第5回	2025年11月～12月 13:00～17:00 (予定)	通学			工場見学	

回数・日程		参加方法	午 前		午 後		
第6回	2025年12月16日(火) 10:00～17:00	通学 連続 2日間	NEW STEP 2:仮説設定 ● 事前レクチャー ● 演習 ● グループ発表		演習:IEインストラクター練習・準備		
第7回	2025年12月17日(水) 10:00～17:00		演習:IEインストラクター練習・準備		個人面談準備		
第8回	2026年1月27日(火) 10:00～17:00	通学 連続 2日間	NEW STEP 3:分析検証 ● 講義 ● ディスカッション ● 演習:ライン作業の生産性向上				
第9回	2026年1月28日(水) 10:00～17:00		NEW STEP 4:改善立案 ● 講義 ● 演習:生産方式改革プランの作成		講義:筆記試験対策		
第10回	2026年2月19日(木) 10:00～17:00	通学 連続 2日間	NEW STEP 5:提案書作成・プレゼンテーション準備 ● 講義 ● グループ演習				
			個人面談 (演習と同時並行で個別に実施)				
第11回	2026年2月20日(金) 10:00～17:00	連続 2日間	NEW STEP 6:改善案の提案 ● グループ発表	IE士認定試験 (筆記試験)		受講者交流	修了式

# 演習の概要

■**総合演習**: ケーススタディを用いて、生産改善に必要な知識、考え方を習得いたします。

## ■演習フローチャート



■**オンデマンド講義**: 動画による講義を、自身のペースで学習いただけます。(第2,3,4回) ※期間内であれば、いつでも・どこでも・何度でも、学習可能!

第1,2単位の事前課題提出		第3,4単位の事前課題提出		第5単位の事前課題、個人レポート提出	
生産革新実現のためのマネジメント技術・リーダーシップを習得		ものづくり力強化による競争優位を実現する			
第1単位	<b>ものづくり改革のためのマネジメント技術</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>経営課題とものづくり改革</li> <li>ものづくり改革の重点課題</li> <li>ものづくり改革の目標設定と目標管理</li> </ul> <b>ポイント</b> <p>目標管理技術を中心に、目標設定、施策選定、実行計画、実績管理についてミドルマネジャーの役割と進め方を学ぶ。(約4時間)</p>	第3単位	<b>顧客要求と経営効率を向上させる製品供給力の強化(SCM)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>SCM改革の必要性</li> <li>在庫削減の基本的な考え方</li> <li>SCM改革成功のポイント</li> </ul> <b>調達コストダウン</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくりによる調達機能</li> <li>競争購買の取組み</li> <li>戦略的内製化／外製化編成の考え方</li> <li>査定購買と調達先強化</li> </ul> <b>ポイント</b> <p>購買技術(サプライヤーの評価、価格査定等の技術)について学ぶ。SCMにおける工場の役割と技術について学ぶ。(約5時間)</p>	第5単位	<b>構内物流改革、材料歩留まり改革のアプローチ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>構内物流改革の2つのアプローチ</li> <li>材料歩留まり向上～歩留まりの構造と改善ステップ～</li> <li>工場間移送</li> <li>倉庫管理と現品管理</li> <li>出荷業務設計</li> <li>製造経費低減～コスト発生構造と改善手法～</li> </ul> <b>ポイント</b> <p>構内物流の効率化を、材料供給、仕掛品搬送、製品搬送について学ぶ。歩留まり向上、経費低減についてポイントに触れる。(約4時間)</p>
	<b>生産革新実現のために視野を拡大</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスモデルに基づくQCD目標の設定</li> <li>勝ち続ける企業のポイント「差別化」</li> <li>勝ち続ける企業の目標設定(企業事例)</li> </ul> <b>開発・生産融合の超垂直立ち上げ技術</b> <p>～オンリーワン商品の迅速な市場投入のために～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>短サイクルで新製品を立ち上げるには</li> <li>量産化技術開発の課題と対策</li> <li>量産準備・立ち上げ段階での課題と対策</li> <li>量産立ち上げ段階での品質安定化策</li> </ul> <b>マネできないものづくり戦略の考え方</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでのものづくりの問題</li> <li>なぜ技術で卓越して、儲けにつなげにくいのか?</li> <li>マネできないものづくり戦略の考え方</li> </ul> <b>ポイント</b> <p>ビジネスの強みをどこで発揮するかを勘案したQCD目標の設定方法と、短サイクルで新商品を立ち上げるための工場の役割と技術を学ぶ。高品質実現の技術と現場マネジメント方法等について学ぶ。(約5時間)</p>		<b>人と設備を対象とした生産システム改革と人材活用</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>生産性向上とコストの関係</li> <li>スキル伝承の仕組みづくり</li> <li>生産性向上のレベルと対象</li> <li>生産システム決定の判断要素</li> <li>情報システムと生産システム</li> <li>派遣活用手順</li> <li>生産量の変化と生産性向上の関係</li> <li>職場の特性と生産性の構造</li> <li>生産性向上のための生産システム</li> <li>設備に着目する生産性</li> <li>賃金と雇用形態</li> </ul> <b>ポイント</b> <p>生産性向上について、生産システムの選択方法や作業(派遣含む)のスキル伝承について学ぶ。(約4時間)</p>		

※所要時間は視聴と事前課題作成時間を加味しています。

さらに

## 特典講義として

**特典 1** IE基礎テクニック習得コース  
(全5単位 約23時間)

**特典 2** IE基礎分析手法習得セミナー  
(約2時間30分)

が「無料」で受講できます!



# 開催概要

日 程	【第1回】2025年10月 3日(金) 13:00 ~ 18:30	会場参加
	【第2回】2025年10月17日(金) 9:00 ~ 17:00	オンラインLIVE受講
	【第3回】2025年10月31日(金) 9:00 ~ 17:00	オンラインLIVE受講
	【第4回】2025年11月13日(木) 9:30 ~ 17:00	会場参加
	【第5回】2025年11~12月 13:00 ~ 17:00	現地会場参加
	【第6回】2025年12月16日(火) 10:00 ~ 17:00	会場参加
	【第7回】2025年12月17日(水) 10:00 ~ 17:00	会場参加
	【第8回】2026年 1月27日(火) 10:00 ~ 17:00	会場参加
	【第9回】2026年 1月28日(水) 10:00 ~ 17:00	会場参加
	【第10回】2026年 2月19日(木) 10:00 ~ 17:00	会場参加
	【第11回】2026年 2月20日(金) 10:00 ~ 17:00	会場参加

- 会 場
- ・会場参加は日本能率協会研修室(東京都港区芝公園)を予定しています。
  - ・第2回・3回はZoomを使用したオンライン受講形式になります。  
※お申込みの前に必ずオンラインLIVEセミナー規約をご確認ください。  
<https://school.jma.or.jp/pa/caOrE>
  - ・第5回は現地での工場見学を予定しています。 ※日程および訪問先は調整中
  - ・状況により会場を変更する場合がありますので、予めご了承ください。

催行人数 11名に満たない場合、開催を中止することがあります

## 参加料

(税込)

	日本能率協会法人会員	会員外
早期申込割引 参加料 (6月30日(月)迄)	671,000円/人 (税抜:610,000円/人)	726,000円/人 (税抜:660,000円/人)
通常参加料	693,000円/人 (税抜:630,000円/人)	748,000円/人 (税抜:680,000円/人)

※参加料には教材費・資料費、試験料が含まれております。通信費・ソフト購入費・交通費・宿泊費などの費用は含まれておりません。  
※本講座開催最終日の消費税を適用させていただきます。  
※法人会員ご入会の有無についてはHPをご確認ください。( <https://www.jma.or.jp/membership/> )  
※参加申込規定はJMAマネジメントスクールのHP ( <https://school.jma.or.jp/> )に掲載しておりますので、ご確認・ご同意のうえお申込みください。

## 対 象

### 生産・製造部門のマネジャー、リーダーとその候補者 社内研修講師、ものづくり教育担当

※製造・生産部門や関連部門での実務経験が5年以上の方、改善・改革業務を行われたことのある方を主対象しております。  
詳しくはお問い合わせください。  
場合によりお申込をお断りさせていただくこともございます。予めご了承ください。

## キャンセル 規定

お申込後、参加者の都合にてキャンセルされる場合、下記の規定によりキャンセル料をご請求いたしますのであらかじめご了承ください。

参加料の10%：開催30日前～8日前（開催日を含まず起算）  
※但し、『テキスト、IEインストラクターマニュアルのいずれか』を小会から発送した時点で参加料の30%  
参加料の30%：開催7日前～前々日（開催日を含まず起算）  
※但し、『テキスト、IEインストラクターマニュアルのいずれか』を小会から発送した時点で参加料の50%  
参加料の100%：開催日前日および当日

## パソコン(各種検索サイト)からのダイレクトで

セミナーID(半角数字) JMA 100411 で検索

もしくは <https://school.jma.or.jp/>

## スマートフォン、タブレットから

※貴社の情報セキュリティ方針等でwebからのお申込みが難しい方はJMAマネジメントスクールまでお電話にてお問い合わせください。 TEL:03(3434)6271



## 過去の参加企業(一部抜粋・順不同)

### ■ 電機、電気・電子、半導体、精密機器

オムロン/オムロンヘルスケア/京セラ/シチズン電子/新川センサテクノロジ/  
セイコーエプソン/ダイヘン/ナプテスコ/ニコン/迫リコー/日立製作所/  
日立ハイテクマニファクチャ&サービス/マブチモーター/ミスミグループ本社/  
三菱電機/リコーインダストリー

### ■ 自動車、自動車関連部品

アルプスアルパイン/エフ・シー・シー/GMB/トヨタ自動車/日清紡プレーキ

### ■ 繊維、化学、金属、素材

旭化成/カネカ/グンゼ/堺化学工業/住友金属鉱山/帝人/東レ/  
ポリプラスチックス/レゾナック

### ■ 医療機器・医薬品

ダイト/帝人ファーマ/テルモ/長野オリンパス/日廣薬品/ロート製薬

### ■ 設備・空調、建築、エンジニアリング

アルバック/川重冷熱工業/CKDフィールドエンジニアリング/積水エンジニアリング/  
ダイキン工業/大成建設/東京電力ホールディングス/ハマイ/ノーリツ

### ■ その他

オリエンタルランド/河合楽器製作所/グローブライド/大和グラビヤ/タニタ秋田/  
タマス/凸版印刷/阪急阪神エクスプレス/両備ホールディングス/YKK

など

まずは、  
お問い合わせください!

## 申込に関すること(参加証・請求書・キャンセル・変更など)

### JMAマネジメントスクール

TEL:03-3434-6271(受付時間:月～金曜日 9:00～17:00 祝日を除く)  
E-MAIL:seminar@jma.or.jp

## プログラム内容に関すること(研修内容・受講形式など)

### 一般社団法人日本能率協会 IEプロフェッショナル養成コース事務局

TEL:03-3434-1410(受付時間:月～金曜日 9:00～17:00祝日を除く)  
E-MAIL:seisan@jma.or.jp